

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Vol. 34, No. 8 August 1988

泌尿器科紀要

第34巻 第8号 1988年8月

【原著】

- MRI による腎癌における Staging および鑑別診断:
特に CT との比較について(英文).....西村 一男・ほか...1323
前立腺癌の MRI: *In Vivo* および *In Vitro* MRI と
病理標本の比較(英文).....西村 一男・ほか...1333
Flow cytometry による Bromodeoxyuridine (BrdU)/DNA 同時解析法の応用
1. その基礎的・技術的検討.....島袋 智之...1339
Flow cytometry による Bromodeoxyuridine (BrdU)/DNA 同時解析法の応用
2. 制癌剤感受性試験への応用のための基礎的研究.....島袋 智之...1349
尿管結石による疼痛と血中白血球増多症(英文).....豊田 泰・ほか...1357
膀胱癌患者における細胞性免疫能の検討:
加齢と膀胱癌細胞 T24 に対するリンパ球細胞障害性.....加藤 幹雄...1363
進行期尿路上皮癌に対する M-VAC (Methotrexate, Vinblastine,
Adriamycin および Cisplatin) 療法の経験.....西尾 恭規・ほか...1371
根治的膀胱全摘除術を施行した膀胱癌症例における
予後因子の解析と術後補助化学療法の有効性の評価.....高士 宗久・ほか...1377
オキシブチニンの下部尿路機能に対する作用.....西沢 理・ほか...1383
前立腺癌における腫瘍マーカー(前立腺性酸性ホスファターゼ,
γ-セミノプロテイン, 前立腺特異抗原)の検討.....秋元 晋・ほか...1389
前立腺癌に対する術中照射術.....児島 真一・ほか...1397
神経保存的の前立腺全摘術の手術成績.....荒井 陽一・ほか...1403
経尿道的前立腺切除術の臨床的検討.....中嶋 久雄・ほか...1411

【症例】

- ベースメーカー装着尿路結石患者に対する ESWL の治療経験.....金澤 利直・ほか...1415
20歳女子にみられた腎細胞癌の1例.....長野 賢一・ほか...1421
腎結石を合併した交叉性腎変位の1例.....岩崎 雅志・ほか...1425
分娩を契機に発症したと考えられる腎杯憩室破裂の1例
一経皮的腎保存療法の経験.....夏目 修・ほか...1431
異所性尿管瘤に伴い憩室様拡張を示した女兒 wide urethra の1例(英文).....神波 照夫・ほか...1437
化学療法が著効を示した膀胱小細胞癌の1例(英文).....伊藤喜一郎・ほか...1443
膀胱原発印環細胞癌の1例.....妻谷 憲一・ほか...1449
男子幼児にみられた前部尿道憩室の1例.....上田 陽彦・ほか...1455
Mayer-Rokitansky 症候群の1例.....小川 修・ほか...1461
Y染色体の構造異常(ring Y)を伴った男性仮性半陰陽の1例.....渡辺 秀輝・ほか...1469
小脳転移を伴った睾丸 Pure Choriocarcinoma の1例.....山本 直樹・ほか...1475
精索平滑筋腫の1例.....川島 清隆・ほか...1479

【治験】

- 癌化学療法後の白血球, 顆粒球減少症に対する
CSF-HU (colony-stimulating factor human urine) の臨床試験成績
一各種尿路性器癌における二重盲検試験.....新島 端夫・ほか...1483
前立腺癌に対する Estracyt® の Phase IV Study.....大堀 勉・ほか...1493
尿路感染症における β-ラクタマーゼ産生菌の動向と
スルペラゾンの臨床的効果の検討.....川村 寿一・ほか...1503
尿路感染症に対する CS-807 の臨床評価.....中嶋 和喜・ほか...1515
ピリドンカルボン酸合成抗菌剤の前立腺組織移行について.....安本 亮二・浅川 正純...1519

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 8,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都 5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1988年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、臨床統計、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 総説、原著論文、臨床統計、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文5頁(400字×20枚)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文3頁(400字×12枚)、図(Fig.)5枚、表(Table)3枚までとする。
 - (3) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなし、清書する。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め(ただし、文節の始めに来る場合は大文字)、タイプで明瞭に記載する。ワープロを使用する場合もB5版原稿用紙に1枚20×20字とする。
 - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名(教授、部長、院長、科長、医長など)、著者名の順に和文で記載する。下段に筆頭者名と、2語からなる running title を付記する。
例；山田・ほか：前立腺癌・PSAP
 - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
 - (4) 英文原稿はA4版原稿用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文を付記する。
 - (5) 数字はすべて算用数字を使用し、単位は m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μg, %, °C などとする。
 - (6) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1. ..., Fig. 2. ..., Table 1. ..., Table 2. ... などと一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印(直接写真に貼付)などを入れ、わかりやすくする。
 - (7) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文の文脈順に入れる(アルファベット順不可)。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文(ワープロ可)はダブルスペースでタイプする。
例：山田^{1,2,7)}、田中ら^{8,11-13)}によると...

雑誌の場合—著者名(全員)：標題。雑誌名 巻：最初頁—最終頁、発行年

例1) Finney RP, Sharpe JR and Sadlowski RW: Finney hinged penile implant: experience with 100 cases. J Urol 124: 205-207, 1980

例2) 竹内秀雄, 上田 眞, 野々村光生, 飛田収一, 大石賢二, 東 義人, 岡田裕作, 川村寿一, 吉田修: 経皮的腎砕石術(PNL)および経尿道的尿管砕石術(TUL)にみられる発熱について。泌尿器科紀要 33: 1357-1363, 1987

単行本の場合—著者名(全員)：標題。書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

例3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: Urolithiasis Research. Edited by Fleisch H, Robertson WG, Smith LH and Vahlensieck W. 1st ed., pp.331-334, Plenum Press, London, 1976

例4) 大保亮一:腫瘍病理学. ベッドサイド泌尿器科学, 診断・治療編. 吉田 修編, 第1版, pp. 259-301, 南江堂, 東京, 1986

- (8) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残し, オリジナルを書留で送付する.
(原稿送付先)

〒606 京都市左京区聖護院山王町18
メタボ岡崎 301 号
泌尿器科紀要刊行会宛

- (9) 論文の採否:論文の採否は編集委員で決定し, 連絡する.
(10) 論文の加筆訂正:審査の結果, 編集方針にしたがって原稿の加筆, 削除, および一部分の書き直しをお願いすることがある. また, 編集委員の責任において多少字句の訂正をすることがある.
(11) 校正は初校を著者による責任校正とし, 再校以降は編集部が行う. 著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する.
(12) 投稿にあたっては, 本誌を十分参考にして体裁を守ること.
3. 掲載
- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする.
迅速掲載には迅速掲載料を要する. 5頁以内は30,000円, 6頁以上は1頁毎に10,000円を加算したものを申し受ける.
(2) 掲載料は1頁につき和文は5,500円, 英文は6,500円, 超過頁は1頁につき7,000円, 写真代, 凸版, トレース代, 別冊, 送料などは別に実費を申し受ける.
(3) 薬剤の効果, 測定試薬の成績, 治療器械の使用などに関する研究論文(治験論文)については, 掲載料を別途に申し受ける.
4. 別冊:実費負担とし, 著者校正時に部数を指定する.

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, the director's name, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al: Prostatic cancer, PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.

編集委員: 吉田 修(委員長) 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重
新谷 浩 園田 孝夫 友吉 唯夫

泌尿器科紀要 第34巻 第8号 1988年8月25日 印刷 1988年8月31日 発行
発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
〒606 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎 301 号 電話 (075) 752-0100
FAX (075) 752-0190
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
